

News Release

2021年1月8日

ヘルステックスタートアップ U b i e株式会社とAI受診相談サービスの実証実験を開始

MS&ADインシュアランスグループの三井住友海上あいおい生命保険株式会社（社長：丹保 人重、以下「当社」）は、U b i e株式会社（代表：阿部 吉倫）が提供するAIを活用した受診相談サービス「AI受診相談ユビー」を用い、2020年11月2日より当社社員（2,800名）を対象に「AI受診相談ユビー」の有用性を確認するため実証実験を開始しました。

1. 「AI受診相談ユビー」の機能（入力・結果表示画面の例）

The image displays two screenshots of the 'AI consultation Yubi' service interface. The left screenshot, titled '気になる症状を入力し、質問に回答' (Enter symptoms you are concerned about and answer questions), shows a user inputting '頭痛' (headache) and selecting '頭痛がする' (I have a headache) from a list of options. The right screenshot, titled '結果表示' (Result display), shows the system's response, including related reference disease names like '急性緑内障発作' (acute angle-closure glaucoma attack) and '群発頭痛' (cluster headache), and the nearest medical facility information.

気になる症状を入力し、質問に回答

関連する参考病名を複数表示

関連する病気として「急性緑内障発作」が表示されます

症状から疑われる病気は？

主に、次の病気が疑われます

急性緑内障発作

また、可能性は高くありませんが、次の疑いもあります

群発頭痛

脳梗塞

結果表示

最寄りの医療機関を表示

最寄りの医療機関や連絡先が表示されます

例えば、ご本人の症状を「頭痛」と入力すれば、次々と症状について質問が展開します

(ご参考) U b i e株式会社について

U b i e株式会社は、2017年5月に設立、社員90名の「テクノロジーで人々を適切な医療に案内する」をミッションにしたヘルステックスタートアップ企業です。提供サービス概要は以下のとおりです。

■「AI受診相談ユビー」

- 一般消費者向けのサービスで、主訴・年齢・性別・季節などの要素を基に問診をAIが出題し、回答に関連する複数の参考病名や受診先が提示されるため、適切な受診行動をとるための参考にできます。
- いつでも、すぐに相談できることから、お客さまへ「健康で安心な暮らし」を提供できるサービスです。

■「AI問診ユビー」

- 医療機関向けのサービスで、患者さまは、診療の待ち時間にタブレットを活用し質問に回答。診察時に医師が参考情報として確認することで、医師の初診にかかる問診時間を約3分の1に削減することが可能です。
- 業務効率化サービスとして、全国200超の医療機関へ導入されています。
- 医療者のカルテ記載業務の「効率化」はもちろん、患者さまの伝え漏れ防止・医療者の聴取漏れ防止の両面で「診療の充実化」の側面でもサポートをしています。

2. 今後の展開

当社社員を対象に「AI受診相談ユビー」の有用性を確認のうえ、お客さまへのサービスとして2021年中の早期に提供することを予定しています。なお、Ubie株式会社の「AI受診相談ユビー」を用いた実証実験は、国内生命保険会社としては初めての取組みとなります。

当社は、お客さま一人ひとりのかけがえのない人生をしっかり支え、ともに、たしかな未来をつくりたいと願っています。今後も先進的な商品・サービスを通じて「健康で安心なくらし」をお届けします。

以上